

## フロント設備工事が始まりました！！

2025(令和7)年1月からプラント設備工事が始まりました。プラント設備とは、ごみを適切に処理しながらエネルギーを回収し、環境への影響を最小限に抑えるための設備等の総称です。2027(令和9)年1月の供用開始に向け、組合と二市が連携して整備を進めています。

<完成予想図>



## 工事進捗状況写真



事業用地内(赤枠)

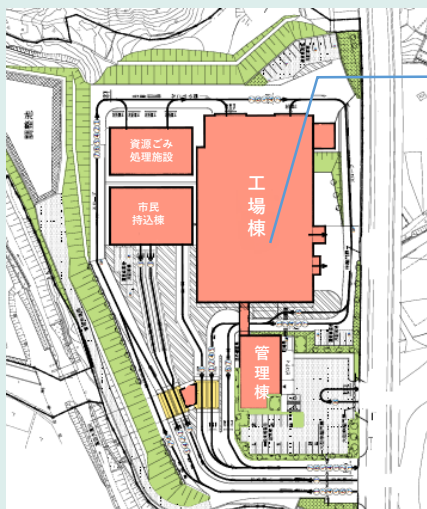


事業用地内(赤枠)



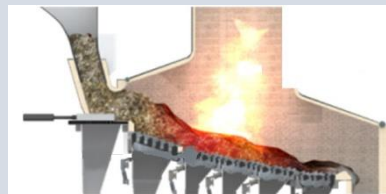
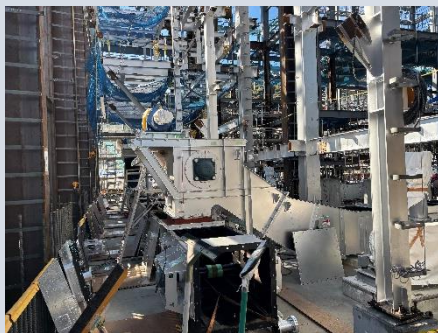
<令和4年12月末(工事着工前)>

<令和7年1月末現在>



### 炉室

回収したごみを燃焼させる空間です。850℃を超える非常に高い温度で燃焼することで、排ガスの浄化を効果的に行うことができます。現在は、燃焼後に場外へ排出する灰を、安全に一時貯留する灰ビットへ移送するための「灰搬出装置」を設置しています。



### ストーカ焼却炉

階段状の火格子が前後に動きながら段階的に燃焼します。国内で最も稼働実績数が多い焼却炉です。

2022(令和4)年												2023(令和5)年												2024(令和6)年												2025(令和7)年												2026(令和8)年												2027年		
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
												R5.1~11 造成設計																																																		
																																				R5.11~R8.9 建築設計												R7.1~R8.6 建築工事														
																																				R7.1~R8.6 プラント設計												R8.2~8 プラント工事														
																																																R8.7~12 外構工事														
																																																R8.7~12 試運転												R9.1 供用開始		
																																																◎ R8.9~全量投入														